

【観光遺産産業化ファンド】 「株式会社弟子屈町振興公社」に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド(以下「本ファンド」という。)」にて、11月24日付で、株式会社弟子屈町振興公社(以下「当社」という。)への投資を実行するとともに、本日、当社に対して専門家を取締役として派遣しましたことをお知らせいたします。

なお、今回の投資は、国立公園満喫プロジェクト推進の一環として、2021年3月に機構、環境省、北海道弟子屈町、北海道、株式会社北洋銀行、釧路信用金庫及び北海道エアポート株式会社との7者で締結した「阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定(以下「協定」)」に基づき、実行するものです。本ファンドからは第9号案件ですが、国立公園満喫プロジェクトとして環境省、地域、企業が連携した枠組みによる国立公園への投資案件としては初めてとなります。

北海道阿寒摩周国立公園を代表する摩周湖、屈斜路湖、硫黄山を含む摩周エリアの大部分をかかえる弟子屈町は、日本最大の屈斜路カルデラ等が造り出した豊かな自然に恵まれたエリアであるものの、その自然資源の利活用が不十分であり、観光入込客数・宿泊客数等は伸び悩む状況が続いてきました。

このような中で、弟子屈町は阿寒摩周国立公園に立地する周辺市町とともに、環境省が主導する国立公園満喫プロジェクトと連携しながら観光資源の磨き上げを進めてきたところです。

当社は、この取組みをさらに推し進めるべく、弟子屈町、環境省、地域観光団体やアクティビティ事業者などと連携し、自然中核地である摩周湖・硫黄山のレストハウス改修による新たなビューポイントや滞在環境の整備、中核地周辺並びに中核地間の移動を楽しむ体験コンテンツの整備支援などを計画しています。

観光客が摩周エリアに長期滞在して、摩周湖、硫黄山、屈斜路湖を結ぶルートをゆっくり時間をかけ自然体験を満喫しながら旅をする新たな観光スタイルを創ることで、同エリアの魅力の底上げを図ります。さらには阿寒摩周国立公園全体にネットワークを広げていくことで、もって世界の旅行者が長期滞在したいと憧れる国立公園の実現に貢献します。

本ファンドは、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対して本ファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社弟子屈町振興公社
所在地	北海道川上郡弟子屈町
代表者	代表取締役 吉備津 民夫
事業内容	・阿寒摩周国立公園摩周湖及び硫黄山レストハウス事業 ・地域振興に関する研究・開発・市場調査・販売等 ・観光事業並びにこれに関する企画・広告・宣伝等 ・上記に附帯関連する弟子屈町から委託を受けた事業

【阿寒摩周国立公園 摩周エリア(弟子屈町)の自然資源】

世界有数の透明度を誇る「摩周湖」



日本最大のカルデラ湖「屈斜路湖」



噴気を上げ、地球の鼓動を感じる「硫黄山」



強酸性の硫黄泉が湧く「川湯温泉」



【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590